

杵島地区新高校整備推進委員会 における検討のまとめ

平成16年7月

杵島地区新高校整備推進委員会

目 次

	頁
1 検討の趣旨	1
2 検討経過	1
3 検討結果	
(1) 教育理念	3
(2) 重点方針	3
(3) 設置学科	6
(4) 教育課程	9
(5) 教職員の配置	15
(6) 施設設備	16
(7) 具体像に対する効果と課題の整理	18
(8) 地域関係者との意見交換の概要	20

1 検討の趣旨

社会の変化や学校教育に対する生徒・保護者のニーズの多様化、少子化による大幅な生徒減少等が進む中、これから高等学校で学ぶ子どもたちにとって望ましい教育環境の整備・確保を図るため、県立高等学校の再編整備が取り組まれている。

平成14年10月に佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画が策定され、その計画において、佐賀農業高校と杵島商業高校を再編統合し、総合選択制を導入した新しい高校（杵島地区新高校）の設置が計画された。

その後、平成15年7月に、第一次実施計画に対する検討結果の取りまとめが公表され、専門高校グループの再編計画については、引き続き検討を行うこととされた。そして、再編統合によって生まれる新高校の具体像（教育内容、施設整備等）を明確にし、その効果や課題などを明らかにするとともに、アンケート調査の結果や関係者の意見などを参考にしながら、総合的に検討し、平成16年度中に、結論が得られるよう努めることとされた。

このため、佐賀農業高校と杵島商業高校との再編計画についても、平成15年9月に、両高校及び県教育委員会の教職員からなる杵島地区新高校整備推進委員会を立ち上げ、教育内容や施設整備など、新高校の具体像や、再編に伴う効果・課題等について、検討を行ってきた。

ここに、杵島地区新高校整備推進委員会として、検討結果の概要を取りまとめるものである。

2 検討経過

平成15年9月以降、平成15年度に5回、平成16年度に3回、杵島地区新高校整備推進委員会を開催し、具体的な学科名や教育課程案、それに伴い必要となる施設設備等について、慎重に検討を行ってきた。

その中で、第2回委員会、第3回委員会では、地元や同窓会、及びPTA関係者から、意見聴取を行うとともに、第7回委員会では、この意見聴取内容に対する、現段階での、県教育委員会としての基本的な考え方を示し、意見交換を行った。

なお、この委員会については、公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて、開催案内や協議概要等の報告を行うなど、県民に対する情報提供にも努めてきた。

これまでの委員会開催日、及び、主な検討内容の概要は、表1のとおりである。

〔表1：杵島地区新高校整備推進委員会開催期日、及び検討内容の概要〕

回	開催期日	検討内容の概要	備 考
1	平成15年 9月 9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・「第一次実施計画に対する検討結果の取りまとめ」の報告 ・今後の検討スケジュール確認 	
2	平成15年11月 5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、及び取組状況の報告 ・新高校の具体像について、意見聴取 	P T A、地域、同窓会からの意見聴取
3	平成15年12月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会から新高校の教育内容等に係る検討状況の報告 ・新高校の具体像について、意見聴取（第2回の補足） 	地域からの意見聴取
4	平成16年 2月 5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会から新高校の教育内容等に係る検討状況の報告 ・今後の検討スケジュール確認 	
5	平成16年 3月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度検討内容に係るまとめ（案）の作成について ・今後の検討・研究内容の確認 	
6	平成16年 5月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度検討経緯の説明 ・まとめ作成に向けての今後の取組事項、検討スケジュールの確認 	
7	平成16年 5月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会における検討結果まとめ作成に向けての検討 ・地域、同窓会、P T Aとの意見交換 	
8	平成16年 5月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会における検討結果のまとめ最終確認 ・今後の委員会活動内容 	

3 検討結果

実施計画案を基に、佐賀農業高校と杵島商業高校を再編統合し、新しい高校（農業科3学級、商業科2学級）を設置した場合における、具体的な学校像（教育理念、重点方針、設置学科、教育課程等）及び効果・課題等について、以下のとおり検討を行った。

(1) 教育理念

<教育方針>

社会の変化に柔軟に対応しながら、基礎学力や基本的な生活習慣の定着に努めるとともに、豊かな心や生きる力を育む教育を行い、時代の進展に対応できる有為な産業人の育成を目指す。具体的には、

- (ア) 生徒一人一人が持つ可能性を引き出し、個性を最大限に伸ばす指導に努める。
- (イ) 基礎・基本を身に付けさせ、自立した人間を育てる指導に努める。
- (ウ) グローバルな産業社会に貢献できる、将来のスペシャリストを育成する。

<教育目標>

- ① 学習意欲を喚起し、自ら学び自ら考える力を育てる。
- ② 農・商各学科の特色を生かしながら、両学科の連携を深める教育活動を展開する。
- ③ 体験学習をとおして、望ましい職業観を育み、自律的な能力と態度を養う。
- ④ 人を思いやる心、感動する心など、豊かな人間性を育む。
- ⑤ 専門高校としての役割を認識し、地域に開かれた学校づくりに努める。

(2) 重点方針

<学校運営の重点>

- ① 全教職員の共通理解のもとで協力体制を確立して、積極的に校務を推進し、明るく活力ある学校づくりに努める。
- ② 家庭や地域社会との連携を密にして、開かれた学校教育を推進し、特色ある学校づくりに努める。
- ③ 生徒一人一人を正しく理解し、個性の伸長を図りながら、自己実現を目指す教育に努める。
- ④ 教職員の校内研修を組織的・継続的に進め、専門性や使命感の高揚に努める。

<教科指導の重点>

- ① 生徒一人一人の基礎学力の充実を図るとともに、自己教育力の育成に努める。
- ② 基礎・基本の徹底を図りながら、生徒一人一人が持つ特性や可能性を最大限に伸ばす指導に努める。
- ③ 日々の授業を大切にし、学習活動を新しい学力観に基づいて適切に評価できるよう努める。
- ④ 将来の農業、流通、商業のスペシャリストとして、より高度な専門性を身に付けさせる。
- ⑤ 総合選択制を活用することにより、学科の枠を越えた幅広い教科・科目の選択履修を可能とする。

<進路指導の重点>

- ① 計画的、組織的な進路指導の充実を図り、主体的に進路の選択・決定ができる能力や態度を育成する。
- ② 一人一人の特性等に応じ、将来の自己実現を目指す的確な進路指導に努める。
- ③ 就業にかかわる体験的な活動を通して、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。

<生徒指導の重点>

- ① 信頼と愛情を基盤にした生徒理解に徹する指導を推進するとともに、生徒の諸活動を助長して、自主的・自立的な生活態度の育成に努める。
- ② 安全教育を通して、かけがえのない命の尊さや、人としての倫理観、規範意識の育成に努める。
- ③ 家庭及び学校生活を通して、規則正しい生活習慣を身に付けさせ、自らの行動に責任を持つことのできる人間性の育成に努める。
- ④ 全教職員の共通理解のもと、あらゆる機会をとらえて、積極的に教育相談に努める。
- ⑤ 問題行動の前兆を見逃さず、家庭や地域社会との連携を図り、生徒の悩みや問題行動の早期発見に努める。

—— 杵島地区新高校のコンセプトについて ——

農業県佐賀の中核を担う杵島・白石地区にあって、農業教育と商業教育の新しい姿を創造し、過去の歴史を受け継ぎ、さらに発展する専門学科タイプの県立高校として、21世紀の社会に受け入れられ、時代を超えて継続・発展できる学校にすることを念頭に置いて検討する。

まず、農業については、農産物の国際化・自由化が進展する中、科学技術の進展、環境問題への関心の高まり、少子高齢社会など社会の状況が大きく変化する中で、21世紀を生き抜く、新たな展開が求められており、教育現場においては、「食料の安全・安心」、「食農教育」、「国土環境の保全」、「高齢社会に対応した農業の特性を生かしたヒューマンサービス」等、豊かな人間性を育み、一人一人の個性を生かし、その能力を十分に伸ばし、新たな課題に創造的に取り組む人材の育成が求められている。

次に、商業については、情報化・国際化が進展していることから、農産物等の商品流通・サービスの在り方等への新たな対応が求められており、教育現場においては、地域の特性を生かした商業教育の新たな展開が求められている。

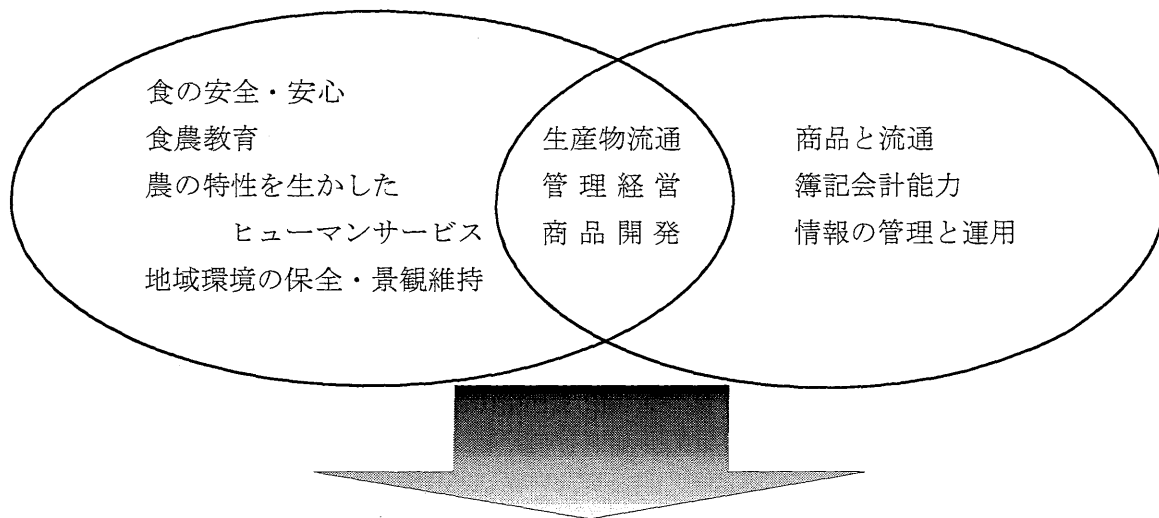
これらを踏まえ、新高校は、農業科、商業科、それぞれの学科で学ぶ教科内容を基礎としながら、多様なニーズに応えるため、総合選択制を導入し、それぞれの学科の枠を超えて勉強することができるようにすることで、将来、佐賀県農業の担い手として、また、経済社会の一員としての望ましい職業観・心構えを身につけさせるとともに、産業人に求められる知識と教養を身につけさせることを目的とした特色ある専門高校とする。

[図1：杵島地区新高校のイメージ図]

< 基本コンセプト >

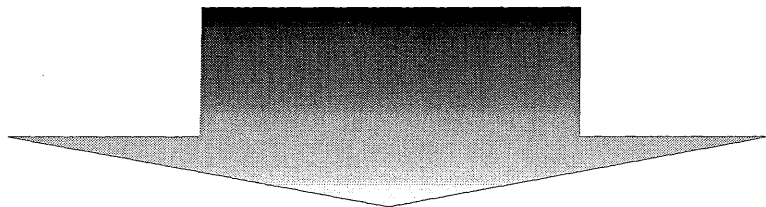
農業教育に求められているもの

商業教育に求められているもの



地域に貢献する人材育成をめざす総合選択制の専門高校

～人間性豊かな産業人の育成、資格取得による専門性の促進～



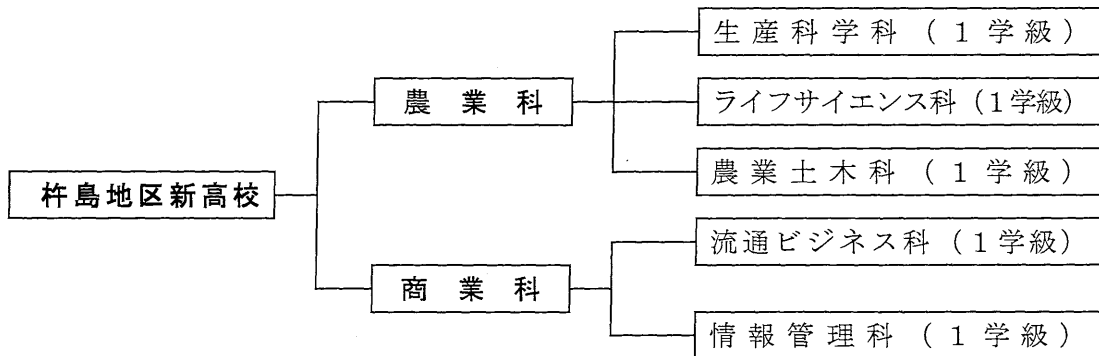
(設置する学科)				
農産物の生産・生物環境に関する学科	食と農の発展・ヒューマンサービスに関する学科	生産基盤、地域産業に関する学科	生産流通に関する学科	情報処理・管理、経営情報に関する学科
生産科学科	ライフサイエンス科	農業土木科	流通ビジネス科	情報管理科

(3) 設置学科

農業科については、3学級3学科（生産科学科、ライフサイエンス科、農業土木科）とする。なお、「生産科学科」は、植物や動物の栽培・飼育に関して学ぶ学科、「ライフサイエンス科」は、食の生産・加工・流通に関する学習を通じて、農業の特性を生かしたヒューマンサービスの分野に関して学ぶ学科、「農業土木科」は、農業土木の基礎知識を生かして、農村環境整備・環境保全に関して学ぶ学科とするが、それぞれの学科の中には、2つの「系」を置き、選択授業で対応する。

次に、商業科についても、2学級2学科（流通ビジネス科、情報管理科）とする。なお、「流通ビジネス科」は、ビジネスに関する基礎的な学習を通じて、経済社会の仕組みを学ぶ学科、「情報管理科」は、高度情報社会で必要なソフトウェアの基礎的な知識・技術を学ぶ学科とする。

[杵島地区新高校の設置学科一覧]

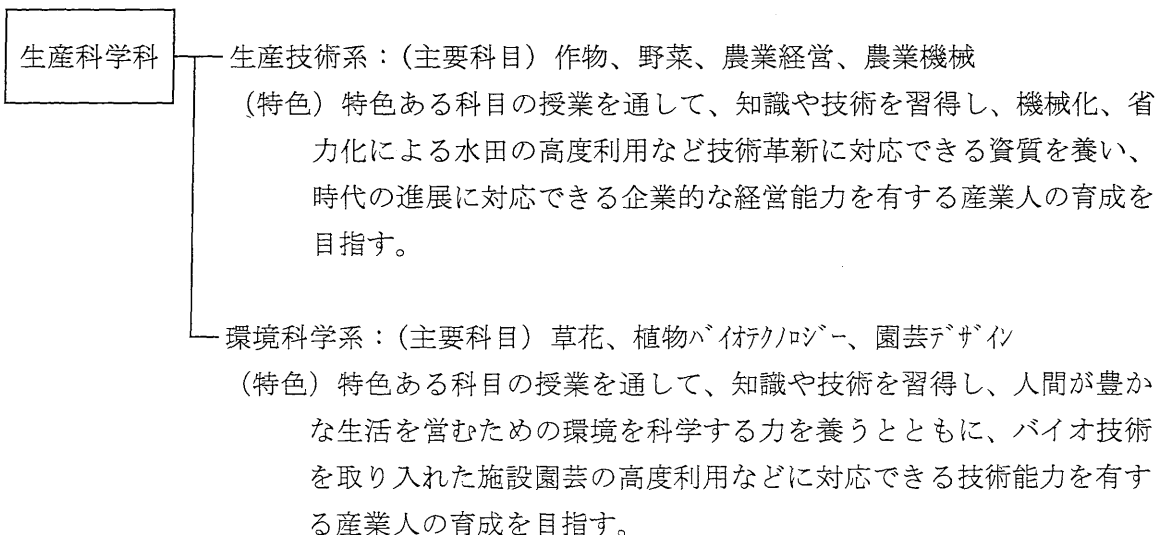


【農業科】

<生産科学科（1学級）>

植物や動物の栽培・飼育を通して、その生理・生態を学び、生産技術の基礎・基本的な知識や技術を習得するとともに、生物の環境を理解し、科学的に解明する力や想像力を育む。

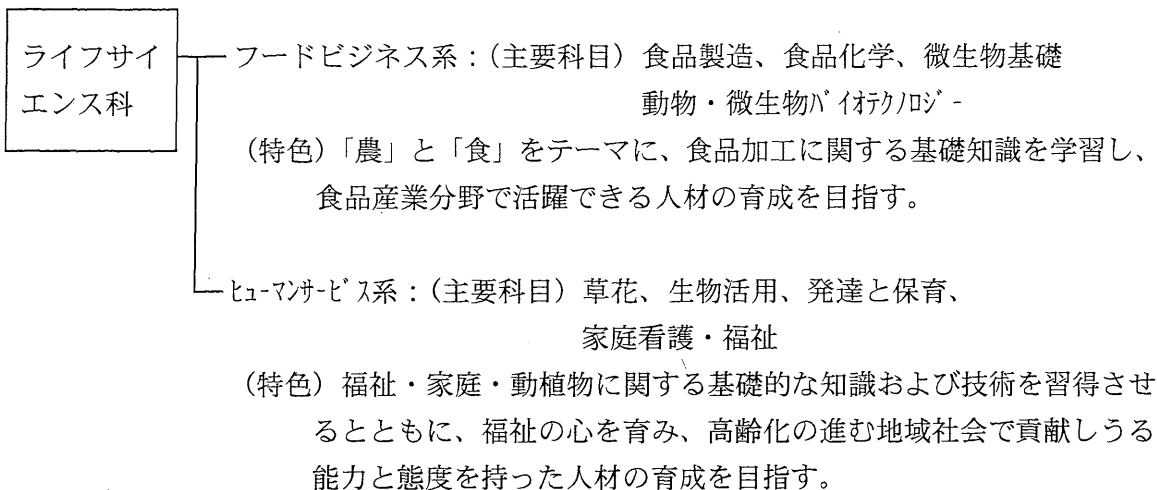
また、企業的な経営能力を養い、地域社会の農業発展に貢献できる産業人を育成する。



※共通履修科目：「農業科学基礎」、「農業情報処理」、「農業機械」

<ライフサイエンス科（1学級）>

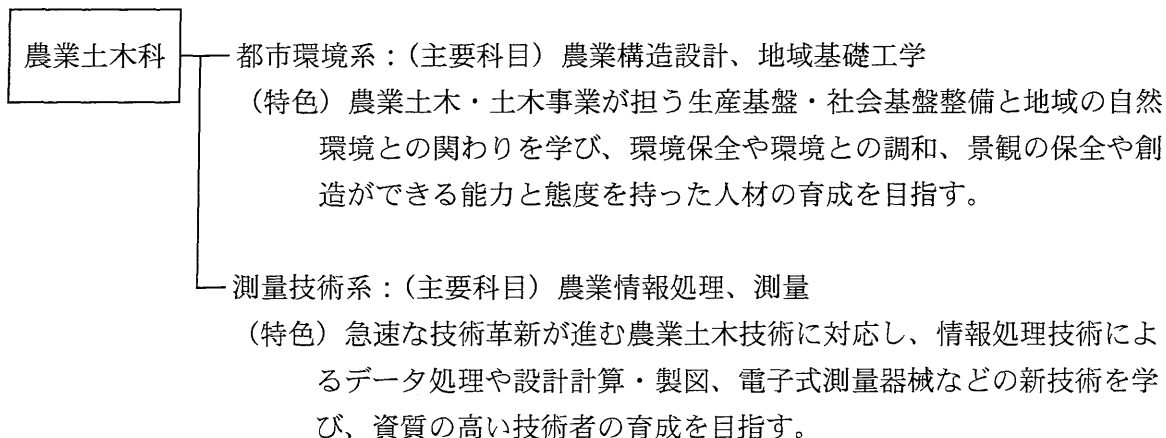
食の生産・加工・流通に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得し、食と農業の発展に寄与できる能力を身につける。また、動植物とのふれあいの中で、こころ豊かな人間性を培い、農業の特性を生かしたヒューマンサービスの分野で活躍できる能力と態度を養う。



※共通履修科目：「農業科学基礎」、「農業情報処理」、「食品流通」、「食品製造衛生」

<農業土木科（1学級）>

農業土木の基礎・基本を確実に定着させる学習活動とともに、持続性循環型、生態系の尊重、環境保全など、地球規模で環境教育が叫ばれているなか、今後は、農村環境整備以外にも環境に配慮した道路・公園等にも注目が集まっており、その技術や手法を身につけさせる。



※共通履修科目：「環境科学基礎」、「農業土木設計」、「測量」

【商業科】

<流通ビジネス科（1学級）>

経済の仕組みや、マーケティング、経済に係る法律など、ビジネスに関する基礎的な学習を通じて、情報化・サービス経済化など、現代の経済社会の変化に柔軟に対応できる能力を育成する。

企業ビジネス活動において、専門的な知識を生かし、生徒自らが商品開発や流通の諸活動に主体的に対応できる能力と態度を持った人材の育成をめざす。

流通ビジネス科	：（主要科目）簿記、会計、商業技術、マーケティング （共通科目）情報処理、ビジネス基礎、総合実践、 経済活動と法、商品と流通、課題研究、 文書デザイン
---------	--

<情報管理科（1学級）>

ビジネスに関する基礎的な学習と情報を適切に収集、加工できる知識・技術を学習し、情報社会に対応できる人材を育成する。

ソフトウェアの基礎的な知識・技術を学び、マルチメディアを効果的に活用するとともに、情報発信のできる知識・技能を持った人材の育成をめざす。

情報管理科	：（主要科目）ネットワーク演習、コンピュータデザイン、 プログラミング、ビジネス情報 （共通科目）情報処理、ビジネス基礎、簿記、経済活動と法、 商品と流通、総合実践、課題研究、 文書デザイン
-------	---

【資格取得】

- 新高校において取得可能な主な資格は、
 - ・農業系・・・危険物取扱者（丙種・乙種）、園芸装飾技能士、土木施工技術者、測量士補、ボイラー取扱技能者、毒物劇物取扱責任者
 - ・商業系・・・情報処理検定、商業経済検定、簿記検定、販売士検定、MOUS（ベンダー資格）、初級システムアドミニストレータ技能者
- などであり、現在とほぼ同等の内容を維持することが可能である。

(4) 教育課程

1つの学校に農業科と商業科といった2つの専門学科を置き、それぞれの専門性は維持しつつ、学校の特色づくりの一貫として総合選択制を導入することとしていることから、教育課程の検討に当たっては、普通教科と専門教科、及び総合選択制導入に伴う選択科目群に分けて検討を行った。

なお、運用に当たっては、必修科目と選択必修科目（各学科で指定）、及び総合選択科目で構成し、効果的な教育展開を図る。

・必修科目 (普通教科、専門教科)	全員に履修を義務づけた科目
・選択必修科目 (専門教科)	所属する学科（農業科、商業科）で指定された科目群で、指定された単位数に応じて、選択履修することを義務づけた科目
・総合選択科目 (普通教科、専門教科)	学科の枠を越えて、興味・関心、進路に応じて選べる選択科目 「自学科科目群」、「他学科科目群」、「普通科科目群」を設定

※必修科目は、必履修科目の意味である。

<普通教科>

- ① 基本的に、農業科と商業科の履修科目と単位数をそろえる。
- ② 基本的に、農業科と商業科の単位数（設定科目数）と履修科目は共通とするが、農業土木科については、資格取得への対応等のため、他学科に比べ、増単位（2年次、3年次に各1単位）を行う。
- ③ 上級学校への進学を希望する生徒が増加している状況等もあることから、総合選択制導入に伴う選択科目群の中には、普通教科・科目も置き、生徒の選択履修を可能とする。

<専門教科>

- ① 専門教科については、基本的に、両校のこれまでの教育内容を引き継ぐものとする。
- ② 農業科については、農業関連の各分野に精通した人材の育成をめざす観点から、各種資格の取得なども可能となるよう、多様な教科・科目を設定する。
- ③ 商業科については、人と人とのコミュニケーションを大切にし、ビジネスに関する知識や技能を身につけた人材の育成をめざす観点から、実習や体験学習をできる限る多く取り入れる。
- ④ 農業科と商業科を併置し総合選択制を導入し、多様な選択肢を用意するとしながらも、入学した学科の専門性を維持する理由により、それぞれの学科について、25単位（学習指導要領で示された最少単位数）は、越えることを前提とする。

<総合選択制導入に伴う選択科目群>

① 基本的な考え方

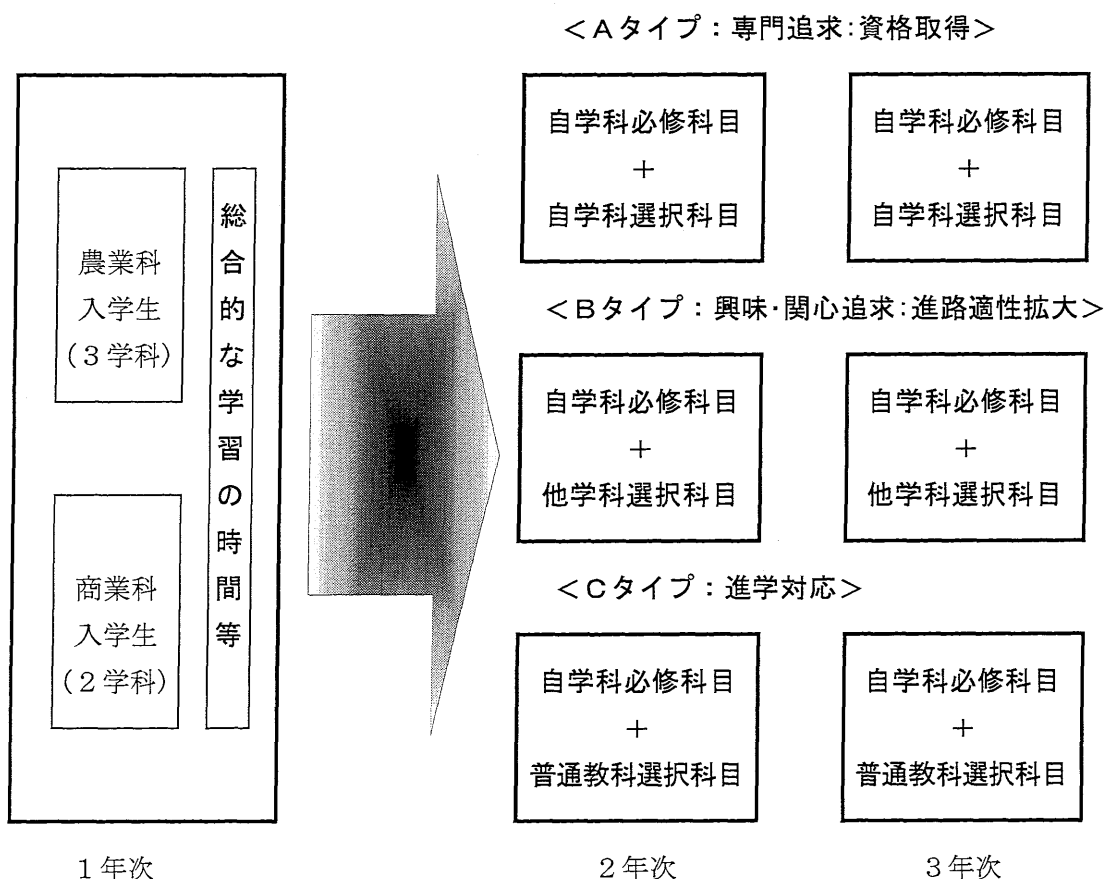
(1年次)

- ・ 所属学科の学習を優先し、総合選択制科目については設定しない。なお、総合的な学習の時間(1時間)を利用し、2年次以降の総合選択科目のガイダンスを行う。

(2年次・3年次)

- ・ 2年次4単位(2単位×2)、3年次4単位(2単位×2)の総合選択科目を設定し、一人一人の生徒が、本人の希望に応じて選択できるようにするが、特定の科目については、資格取得等の面から、継続履修を前提とする。
- ・ 総合選択科目の決定に当たっては、生徒の希望により、
 Aタイプ(「専門性追求」、自学科の選択科目を中心に選択)
 Bタイプ(「興味・関心追求」、他学科の選択科目を中心に選択)
 Cタイプ(「進学対応」、普通教科の選択科目を中心に選択)
 から選択できるようにする。

(総合選択制の科目選択イメージ)



② 教育課程表 (Aタイプ、Bタイプ)

具体的な教育課程は、11～13ページの通りである。

Aタイプ＝教育課程案（農業科3クラス、商業科2クラス）

学年	学科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30									
1年	農業	生産科学科	国語総合	現代社会	現代社会	現代社会	数学I	生物I	生物I	体育	保健	美術	美術	美術	英語I	英語I	家庭基礎	農業科学基礎	総合実習	総合実習	農業情報処理	総合実習	総合実習	農業情報処理	農業情報処理	食品流通	H R													
		ライオンエス科	国語総合	現代社会	現代社会	現代社会	数学I	化学I	化学I	体育	保健	美術	美術	美術	英語I	英語I	家庭基礎	農業科学基礎	総合実習	総合実習	農業情報処理	総合実習	総合実習	農業情報処理	食品製造	食品流通														
	商業	農業土木科	国語総合	現代社会	現代社会	現代社会	数学I	理科総合A	理科総合A	理科総合A	体育	保健	美術	美術	英語I	英語I	英語I	英語I	英語I	環境科学基礎	農業情報処理	農業土木設計	情報処理	情報処理	情報処理	測量	H R													
		流通ビジネス科	国語総合	現代社会	現代社会	現代社会	数学I	理科総合A	理科総合A	理科総合A	体育	保健	美術	美術	英語I	英語I	英語I	英語I	英語I	環境科学基礎	農業情報処理	農業土木設計	情報処理	情報処理	情報処理	測量														
	2年	農業	生産科学科	国語総合	地理A	地理A	地理A	数学I	生物I	生物I	体育	保健	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	農業機械	農業経営	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜				
ライオンエス科			国語総合	地理A	地理A	地理A	数学I	化学I	化学I	体育	保健	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	農業情報処理	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学	食品化学					
商業		農業土木科	国語総合	地理A	地理A	地理A	数学I	数学II	数学II	物理I	体育	保健	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	総合実習	農業土木設計	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測量				
		流通ビジネス科	国語総合	地理A	地理A	地理A	数学I	理科総合B	理科総合B	理科総合B	体育	保健	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術	商業技術				
3年		農業	生産科学科	国語表現I	世界史A	世界史A	世界史A	数学A	数学A	数学A	体育	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜
	ライオンエス科		国語表現I	世界史A	世界史A	世界史A	数学A	数学A	数学A	体育	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	食品製造	
	商業	農業土木科	国語表現I	世界史A	世界史A	世界史A	数学II	数学B	数学B	物理I	体育	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎	家庭基礎
		流通ビジネス科	国語表現I	世界史A	世界史A	世界史A	数学A	生物I	生物I	生物I	体育	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	
	情報管理科	国語表現I	世界史A	世界史A	世界史A	数学A	生物I	生物I	生物I	体育	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	英語II	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	文書デザイン	

総合選択科目群

学年	学科	2年次	3年次
1年	普通	現代文	現代文
		数学II	数学II
	日本史A	日本史A	
	ピジュアルデザイン	ピジュアルデザイン	
農業	畜産	畜産	
	果樹	果樹	
商業	商業技術	商業技術	
	英語実務	英語実務	
家庭	被服製作	被服製作	
	フードデザイン	フードデザイン	

注1) [] は、学校設定科目を表わす。

注2) ※印の科目は、基本的に、2年次と3年次の継続履修が望ましい。

注3) ▲印の科目は、2年次（選択A）、3年次（選択C、選択D）の継続履修が望ましい。

注4) ○印の科目は、2年次（選択A+選択B）のセット履修が基本。

注5) ●印の科目は、2年次（選択A+選択B）と3年次（選択C+選択D）の継続履修（8単位分）が基本。

注6) △印の科目は、3年次（選択C+選択D）のセット履修が基本。

学年	学科	2年次	3年次
1年	普通	現代文	現代文
		数学II	数学II
	日本史A	日本史A	
	ピジュアルデザイン	ピジュアルデザイン	
農業	畜産	畜産	
	果樹	果樹	
商業	商業技術	商業技術	
	英語実務	英語実務	
家庭	被服製作	被服製作	
	フードデザイン	フードデザイン	

